

いづな

題字／深田明弘

No.97
2021.12.31



澄み渡る秋空と北信五岳のふもとに赤く実ったサンふじりんごたち

photo 天野 奈津美

特集

新たな農業のカタチ

主な掲載記事

新たな農業のカタチ	2~5
本の魅力・あっちこっちこの町	6
いづな時空散歩・ど〜こだ!?	7
公民館ダイアリー・掲示板など	8~10
アルバムからこんにちは・さんぽ道	11
はぐくむ	12

「ど〜こだ!？」では、答えを募集しています！ぜひ、ご応募ください!!



トウモロコシ収穫後、野沢菜と白菜が育っています。

新たな農業のカタチ

元日本代表のアスリートがトウモロコシを作る!?

そんな話がこの飯綱町にありました。

さっそく私たちはお話を伺いに行ってきました。

編集委員 高橋 瑞穂 高橋 弘之 高野 あゆの

「飯綱町でアスリートがトウモロコシを作っている?」

こんな記事があります。『東洋経済新聞 農業×スポーツ』（インターネット上で読むことができます。）ここでは飯綱町で活動している会社の取り組みが紹介されています。さらに会社のホームページを

参照すると、この新しい会社は福祉や食育にも取り組んでいるようです。今回は農業とスポーツを掛け合わせた「新たな農業のカタチ」を求めて、『I. D. D. WORKS』（アイディーディーワークス）さんを訪問しました！
<https://iddworks.jp>

20日朝9時、牟礼地区の小



『土づくり=人間づくり』と中條さん（小玉地区在住）

学校の廃校跡（いづなコネクトWEST）へ。町内は例年のりんごの収穫祭で、各地から人が集まり、にぎわう11月。今年はコロナの影響で大規模な収穫祭はなく、点々とりんご狩りや販売所がありました。三水地区の直売所はすでに大勢の人でこった返していました。二つの廃校跡（牟礼地区、三水地区）では「いいコネまつり」（11月20日（土）～21日（日））と題して、長野市のスーパースポーツが共催するお祭りを開催中でした。牟礼地区の取材でも、車が混み合い、駐車が心配されましたが、朝早くからの駐車係さんたちのおかげで、何とか駐車できました。アスリートの鉄則「心技体」にならって、精神力、技術、体力に分け、特集したいと思います。

1. 精神力（スリッパに履き替える地点で親切な青年たち）

私事で恐縮ですが、子どものサッカーの練習でこの廃校跡に送り迎えをしており、校内を見学していたことがあります。そのとき、ガラスの扉

越しに親切な青年があらわれ、上履きに履き替えるよう丁寧に教えてくれたことがあります。そのまま進むと体育館跡に行く長い通路。下の階段を降りるとフィットネス。その親切な方は、フィットネスクラブの案内してくれました。鏡張りのレッスン室（理科室跡）や、いつもは鍵のかかっている体育館跡までしっかり歩いて案内していただきました。廃校跡にある新しい器具が揃ったフィットネスや、きれいに管理された施設。案内をしてくれる親切な人はガラス越しに働いている青年たち。この人たちはどなたなのでしょう？そんな疑問を抱えたまま、新しいサッカーの芝生グラウンドに立派な夜間照明がかかる中、ボールを蹴飛ばす子どもたちや時々、続々とあらわれるサッカーのいで立ちをした成人男性たちの球戯を見てみると、背後には灯のともった廃校の校舎があり、ガラスの窓越しに人影が見えます。仕事をしているのがわかります。

訪問当日、会社の場所を館内マップで探そうとしても、会社名が見つかりません。先に来ていた編集委員が声をかけてくれ、何とか間に合いました。連日の湿りっ気で洗濯物が乾かない中、靴下がなくなわって室内用の毛玉がついた靴下を履いており、靴は脱がないであろうと思っていたのも束の間、上履きに履き替える懐かしい地点に来ていました。真新しい綿半マークがついたレジ袋に靴を入れ、綿半マークのスリッパに履き替えました。ガラスの扉を押すと、編集長が雑談してました。その後、体育館跡のマーケットに店のため不在となり、副編集長は急遽欠席。取材はかろうじてメモ書きしてきた紙をもとに、キビシめに行われることになりました。それでも、真摯に対応してくださったのは、中條翔太さん。会社名が見つからなかったのもそのはず、名刺を見ると会社は長野市にあります。飯綱町では、フィットネスクラブの運営で校内に仕事場があるようでした。フィットネス担当は、この会社の滝澤さん。私が案内してもらった方とは違いましたが、やはり親切な方でした。この日も快く案内をしていただきました。



長野まで行かなくても最新のマシンで鍛えられますよ。

中條さんにお話を伺っていると、ガラスの窓から何やら活動している子どもたちが見えました。OZ Field(オズフィールド)というフリー

で挨拶しました。子どもたちのお店では、木のトーチ、木製ビー玉迷路、磨いた石、イラスト、手芸品など販売していました。この日の最後に編集長のいる体育館跡マーケットへスリッパを履き、向かい

ました。帰ってくる人たちは、大きなレジ袋を持っていました。綿半提供のお土産(除湿剤2パック、全6個)です。たくさん積んであるお土産で、ご自由にお持ちくださいとありました。皆さんの流れに沿って、いただいて帰りました。除湿剤について、必要ないといえは必要ない、ちょうど良かったともらっています、分らないけれどもらっていく、この日も色んな方がいらっしやったようです。ものごとの成り立ちや決断の潔さ。何かを完結させるための『成し遂げる力』アスリート(中條さん談)。私たちが日々積み重ねているのはアスリート並みの精神力なのかもしれません。それは農業の分野でも、山登りでも、またスポーツをはじめ色々なことに当てはまるのではないのでしょうか。

2. 技術(マップ)に載っていない場所様々な角度からみること

会社の場所を館内マップで探そうとして、なかったことをきっかけに、情報化社会の

今、目的にたどり着くにはとてもややこしくなっていることが分かります。急な斜面を登ろうとして滑り落ちるように、いくら進もうとしても時間ばかりかかってしまう、そんな経験はありませんか。順調に山を登ろうとしても、もしそれが砂山であればずるずると、落ちこちてしまいます。ホームページを確認するよりも、電話したり直接聞いた方がよく分かった、そんなこともあります。東洋経済

新聞の記事(農業×スポーツ)では、3年前に飯綱町主催の事業チャレンジに応募した三橋さんのことが紹介されています。事業チャレンジの後、「生きがい創造」をテーマに飯綱町で事業を始めたそうです。この会社は三橋さん、滝澤さん、中條さんをはじめ、7名の20〜30代の社員で構成されています。事業部名が「GROW(グロウ)リーダー」の

中條さん。末尾にθ(シータ)という角度記号。あらゆる方向の成長に寄与する取り組みを示唆しています。

フィットネスのチラシは外部委託による制作ですが、チラシにあるSent(セント)という文字は滝澤さん案。「銭湯」と掛け合わせた思いがあるそうです。今年4月から始め、10月で会員は100人程になりました。利用者の方は、お友達を連れてきてくれて同窓会みたいになっているそうです。マップに載っていないことや調べてもよく分からなかったりすることが多い現代。農業のように自然への感性を育てる現場では、自然の成り立ちから学ぶことが多く、その複雑さは、私たちが一人ひとりが力強く楽しむ力のもと。実際にアスリートの技術を得ることは難しいですが、フィットネスやスポーツを通して、アスリートのようになれたら誰かに力をもらったり与えたりと、新たな農業のカタチをつくっていくことに繋がるのかもしれない。



興味のある方は、このQRコードからご覧ください。

3. 体力 くアスリー トの畑

同新聞記事では、飯綱町にある元サッカー日本代表石川直宏さんのNaos, s F A R M(ナオズファーム)

畑ではトウモロコシを始め

が掲載されていました。その畑に案内していただきました。ほぼ軽トラック1台分の車幅の一本道を行くと、開けた場所に畑が広がっていました。



左上がSent.のチラシ。スポーツを通して人と人のつながる場をつくってくれています。

とする数種類の野菜を栽培していました。奥の方にはまだ未開拓の部分があり、これから畑を広げていくそうです。鹿やイノシシが出没するので太陽光電気バATTERリーによる電気柵など対策もされていました。農業は天候や自然によって作業が変わってきたり、サッカーはケガなどのアクシデントがあります。スポーツも農業も、自分で自分をコントロールする分、自分の「弱さ」と向き合い、何かを成し遂げるという面で共通する部分があるとのこと。前出の三橋さんはサッカー選手としてAC長野パルセイロに所属していました。そして、地域の色や持続性をもった地盤の産業をセカンドキャリアに組み込みました。一方、中條さんは大町市出身(27歳)。エンジニアをしていましたが、長野高専時代の友人滝澤さん(上田市出身)に声をかけられ、Uターン就職。サッカーもしていたそうです。また2019年の水害は、キャリアを考え直すきっかけにもなったそうです。今は、地元の農家のベテランの方たちからノウハウを教わったり、畑

づくりを進めています。農家の方たちにとっても担い手不足の今、屈強な青年たちは喜ばれています。新しい出会いとして、お互いを高めあっている関係性が築かれているようです。お話を伺う中で『土づくりⅡ人間づくり』(中條さん談)という頼もしい言葉がありました。Jリーグでは、サッカー選手のセカンドキャリア(デュアルキャリア)についてのとらえ方が、開始当初からありました。最近では農業の現場に関心をもつ選手たちもいて、今年には会社の事業に10名程の選手が参加しました(柔道の選手が農業体験に来たことも)。アスリート

プロの地元農家が出会い、共に作りあげている新たな農業のカタチ。みんなまで応援していけたらいいですね!!

帰り際に校内で、フリースクールのマーケットのビー玉迷路を買いました。綺麗な赤色のビー玉を転がしながら歩いてみると、サッカー体験にきた新しいサッカーウェアを着た子どもたちが覗き込んできました。

豊かさにあふれた何でも手に入るような今の時代ですが、おもちゃはおもちゃ。楽しい気持ちは同じなのだと思えました。自然の良さを忘れず、自然への感性を育てる大切さを感じた一日です。



学校のまわりで集めた枝で作られたビー玉迷路

本の魅力

本って楽しい！ 本が好き！

牟礼小学校・三水小学校

子ども読書推進に大きく貢献されている東京子ども図書館からのメッセージ（抜粋）をご紹介します。

「前略」幼い日に、ことばの力と想像力を身につけることが何より大切です。ことばは、愛情のしるしであり、あらゆる精神活動の土台です。想像力は、人間の置かれた場所から、より広い世界へはばたかせる翼です。そして、この本は、ふたつの力を育てるもっとも強力な手段です（後略）」

子どもたちを代表して、町内の二つの小学校から本好きのお二人にお話をお聞きしました。

牧野内紗奈さん（牟礼小学校5年）

「ほとんど毎日図書館へ通っています。不思議なことが起る物語が

好きで、主人公の気持ちになって読んでいます。シリーズ物を読み終えると、とても楽しかったの思いに加え、更にその先はどうなるのか？ 気になってもっと読みたくなり、小さい頃から読み聞かせをいっぱいしてもらいました。小さい頃は長野市に住んでいたので長野市立図書館にたくさん通いました。家族みんな本が好きですが、多分私が一番読んでいます。前は外遊びも好きでしたが、今は本を読む時間の方が多いです。」

原雪乃さん（三水小学校6年）

「低学年の頃は外遊びが好きだったので、本には興味はありませんでした。高学年になった時、クラスに本好きの友達がいいて、その子に影響

されて本を手に取りました。その本が面白くて、それから本が好きになりました。女の子が主人公のファンタジーが大好きです。たくさんの人に本の楽しさに気付いてほしくて図書委員長になりました。イベントをするとかくさんの人が図書館に来てくれます。図書館を訪れることでお気に入りの本に出会ってくれるといいなあと思っています。」

ゲームやYouTubeなどお手軽に楽しむツールに負けず「本って楽しい」経験を積んでいる子どもたちに出会えて嬉しいです。ことばと想像力が子どもたちの生きる力となりますように。」

（近藤）



牧野内紗奈さん
お気に入りの、こまつあや作『ハジメテヒラク』（講談社）とパチリ。



原雪乃さん
お気に入りの、井上林子作/イシヤマアズサ絵『11歳のバースデー』（くもん出版）とパチリ。



No.60 御嶽神社と覚明霊神

家の近所を散歩して、知らない岩について調べてみようシリーズ第2弾です（笑）。御嶽信仰については、2014年9月27日の御嶽山噴火の際に少し知ることになりました。右隣の岩には何て書いてあるかもわからないので、歴史ふれあい館に行き、調べてみました。「覚明霊神」と書かれているようです。ネットで調べてみる

と、山岳信仰、修験道、覚明行者、普寛行者などのことが書かれていました。興味のある方は、「ユーチューブ 御嶽信仰のおはなし」と検索してください。

内容を見て私を感じたことを少し紹介します。山や森は神々が住む神聖な場所、「八百万の神」がいるという感覚は日本人のとても素晴らしい文化だと思っていました。しかし昔はその山に対する信仰さえも、厳しい修行を行った者しか入山できず、一般庶民には許されていなかったこと。そこで覚明さんと普寛さんという2人のスーパースターがそれまでの常識を覆す革命を起こしたらしい。そのおかげで一般庶民にも御嶽登山ができるようになり、全国的に「御嶽講」が広まっていったと。何百年もその場所で風化に耐えて歴史を記録してくれる「岩」は凄いですね。優れた記録媒体の一つだと思えます。子どもが遊んで危険にならないようにしっかりと固定するか、大人がその重要性を聞かせてあげられると良いかもしれません。（飯田安彦）



牟礼区御所之入バス停前の石碑

いづな時空散歩

Vol.11

風景の美しさの秘密



この町は「里山」と「集落」、そして「奥山」から出来ています。

里山とは、「人と自然が長い時間をかけて創り上げた『相互影響の跡』をのこす地域」を指します。雑木林や

田んぼ、小川や用水やため池などは里山の大事な構成要素です。飯綱町の里山には、山間

地型の里山（里山I）と高原型の里山（里山II）があります。里山Iは集落と田畑や林地が一体となっている場です。里山IIはかつて広大な採草地があり、今は森林や別荘地やリゾート施設等があるところ。それらの背後に、人があまり立ち入ることのない奥山がそびえています（写真参照）。古くから奥山は神々の住まうところとされてきました。

冬に豊かな雪をいただく奥山は、里の人々にとって命をつなぐ「水がめ」です。飯綱町の風景の美しさの秘密は、これら里山と集落・奥山がバランスよく連続し、ゆるやかな起伏の、すり鉢状の地勢により、町内の多くの場所からそれらを一望できることにあります。そして過去数十年にわたるこの地の地殻変動と、過去数千年にわたる人の暮らしながら継続していることを忘れてはなりません。

見慣れた町の風景も、美しさの理由をたずねていくと見え方が変わります。ここには、他所に類をみない独特の里山景観があるといつてよいと思います。

（いづな歴史ふれあい館長 富樫均）

〜シリーズ人権〜 ねがい

⑨7

町では、今年3月「第二次男女共同参画計画」が策定されました。私は町の男女共同参画推進委員として計画策定に微力ながら係らせていただきました。

こうあるべきをこえて

固定観念に捕らわれることなく、男女が平等で区別のない社会づくりが大切です。

調査結果では男女平等意識の定着はまだまだ道半ば、さらなる意識改革が必要だと思えました。ただこれは飯綱町に限ったことではないのです。先の衆院選で女性議員は全体の1割以下。世界でも日本の女性議員の数は最低レベルです。国でも

男女平等・女性の活躍する社会を目指す男女共同参画の実現には課題が山積みです。でもこれからは確実に女性の意見やニーズが重要になります。例えば、防災・災害対策があります。災害時、避難所に清潔なトイレを設置する、プライバシー確保対策として男女別更衣室を設置するなど女性の視点や意見が不可欠です。男はこう、女はこうという固定観念に捕らわれることなく、男女が平等で区別のない社会づくりが大切です。

今回策定した計画の概要版は、4月頃各戸に配布される予定です。多くの皆さんに関心を持っていただき、差別や偏見のない誰もが自分らしく生きられる町づくりを一層促進させたいものです。

（男女共同参画推進委員 丸山武史）

これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント 子どもの頃、公民館行事でここまで歩いていきました!

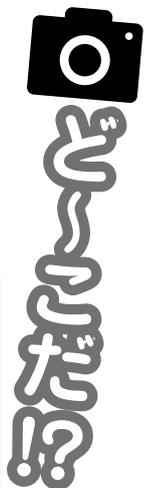


96号「ど〜こだ!」答え

町民会館。今まで通り、町民の憩いの場として活用されるようになってほしいですね。今回当選された方、おめでとうございます!!



正解した方の中から抽選で5名様にみつどんグッズをプレゼントします。皆さんのご応募お待ちしております。
※応募要領は下記をご参照ください。



飯綱ミニバス優勝!

— 北信濃地区リーグ戦 —

10月24日(日)、スポーツ少年団の飯綱ミニバス(男子)が北信濃地区リーグ戦において見事優勝しました。

6月から始まった今大会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1カ月ほど延期となりましたが、10月24日に無事終えることができました。

飯綱、平野、豊野、中野、飯山、小布施、高山若穂、松代の全9チームが参加し、飯綱ミニバスは7勝1敗という素晴らしい結果を残してくれました。

リーグ戦最終日(10月24日)、惜しくも中野チームに敗れてしまい、全勝での優勝を目指していた選手たちにとっては、優勝できた喜びよりも1敗した悔しさが勝ったようです。

今年度、飯綱ミニバスは人数が減ってしまった影響で信濃町のチームと合同となりました(チーム名は飯綱ミニバスのままです)。



新体制となった飯綱ミニバスは、新たな仲間とコミュニケーションを大切に今回の1敗を糧に日々練習に励んだ結果、11月23日の北信濃優勝大会においても優勝することができました!

今後、さらに強い飯綱ミニバスとなり、たくさんの方の大会で勝利することを願っています。

第7回飯綱町小学生駅伝競走大会



11月3日(水)に毎年恒例となった飯綱町小学生駅伝競走大会が開催されました。町内及び信濃町の小学生がチームを編成し、11チームが参加しました。大会結果については次のとおりです。

○総合順位

第1位 ザ・ヒーローズ

第2位 ホットケーキA
(大内 豪馬、岩村 綾真、剣持 遥央、西澤 恵輔、北澤 颯大、古谷 圭志、小山 瑛太)

第3位 飯綱リベンジャーズ
(西沢 晴、石黒 陽向、伊藤 琉稀、平井 聖人、青木 瑠信、矢部 凜音、高橋 虎太郎)
佐、梨本 巨、藤木 優成、笠井 茉胡、柳澤 央

○学年賞

1年 男子：出場なし 女子：ニツ井 歩花
2年 男子：梨本 幸成 女子：山田 あこ
3年 男子：藤木 栄哲 女子：高野 有紗
4年 男子：西沢 晴 女子：仲俣 綾乃
5年 男子：高野 瑛聖 女子：大川 花南
6年 男子：岡田 然 女子：松橋 奈花

○最速賞

男子：古谷 圭志(6年)
女子：笠井 茉胡(6年)

大物が収穫されました!

— 巨大なさつまいも —



芋川地区の羽入田初男さんの畑で、直径約60cm、重さ5kgを超えるとても大きなさつまいもが収穫されました。取材に伺い、実際にさつまいもを見たときは想像を超える大きさで、羽入田さん自身もこんな大きなさつまいもを収穫したのは初めてということ、とても驚いていらっしゃいました。来年の秋も、大物が収穫される豊作の年となるでしょう。

2021 図書館まつり

— 11月14日(日) ～ 11月21日(日) —

今年の図書館まつりは昨年同様、来館者のみなさんに楽しんでいただける企画をご用意し、引いているものも見受けられました。また、「あなたが思う飯綱」に、ブックリユースは「いいづなの木」を育てようというコーナーでは、「りんごがおいしい」「空気がおいしい」「本が大好きな本がある」など、たくさんの方に書いていただきました。この期間中だけでなく、これを機に町内の図書館を積極的に利用したいですね。



今年好評で楽しみにされている「いいづなの木」を育てようというコーナーでは、「りんごがおいしい」「空気がおいしい」「本が大好きな本がある」など、たくさんの方に書いていただきました。この期間中だけでなく、これを機に町内の図書館を積極的に利用したいですね。

2021図書館まつり俳句と川柳受賞作品

俳句の部

最優秀賞 新米や郷の香連れて旅に出る 龍野由子

優秀賞 墨の香のただよふ秋の写経かな

入選 間引菜をきざむ厨の夕映えに 寺島美恵子

俳句の部(子ども)

最優秀賞 葉の露黄色とりどりにまい落ちる

優秀賞 ひこぎ雲夕やけの中一直線 濞澤実乃里

川柳の部 細い道歩き続けてまだ米寿 島田洋審

川柳の部(子ども)

最優秀賞 気がつくといつの間にやら主人公

優秀賞 寒ささえものりきる強さ麦の唄 丸山奈緒子

※審査 俳句：(公社)俳人協会長野県支部評議員

俳句(子ども)・川柳：図書館まつり実行委員会

いづなスポーツクラブからのお知らせ

食による健康管理の講座

日時：令和4年2月上旬予定 午前9時半〜

場所：飯綱町健康管理センター

募集定員：先着20名

第15回ライジボール卓球大会

日時：令和4年3月6日(日) 午前9時〜

場所：三水B&G海洋センター体育館

チーム編成：1チームダブルス3組で男女混合とします。

募集チーム数：先着16チーム

締切日：令和4年2月26日(土)までに申込用紙

を三水B&Gへ提出してください。

いづなスポーツクラブ講演会開催について

野本整骨院野本真一先生の講演会

日時：令和4年3月下旬予定(自由参加)

場所：三水B&G海洋センター

問合せ先：いづなスポーツクラブ

TEL253-8951

公民館報「いづな」におけるタイトルのデザイン募集します！

来年6月末発行の公民館報「いづな」は創刊100号を迎えます。そこで、創刊100号を記念して、表紙の「いづな」と6頁の「あっちこっちの町」のタイトルデザインを皆様からの応募作品の中から決定いたします。選考の上、見事選定された方には謝礼を呈呈します。詳細につきましては、飯綱町民会館窓口及び三水B&G海洋センター窓口にある募集要項をご確認ください。

多くの皆様からのご応募お待ちしております。

※選定されたデザインの著作権は飯綱町公民館に帰属されます。

募集対象：表紙「いづな」および、6頁「あっちこっちの町」の両タイトル

募集期間：令和4年1月4日(火)〜令和4年2月28日(月)まで

応募様式：募集要項に付属の受付用紙にご住所、お名前、お電話番号をご記入していただき、デザインとあわせてご提出ください。

デザインは指定の様式はありませんので、お好きな様式に大きく描いてください。

応募方法：町民会館窓口へ直接提出、郵送、メールのいずれかの方法でご応募ください。

応募先：飯綱町大字牟礼1989 飯綱町民会館内館報編集室 TEL253-6560

メール：gakushu@town.izuna.naganano.jp

結果発表：令和4年4月末発行の公民館報「いづな」No.99号内において発表予定です。

問合せ先：飯綱町民会館 TEL253-6560



中学校図書館新着本

李王家の縁故 林真理子

榕果 黒川博行

火狩りの王(外伝) 日向理恵子

恋ほおずき完全版 諸田玲子

さもなくば黙れ 平山瑞穂

らんだん 柚木麻子

犬神家の戸籍 遠藤正敬

月夜の羊 吉永南央

夜叉の都 伊藤潤

遠慮深いうたた寝 小川洋子

濁り水 日明 恩

学童ノススメ

おおたにませえ

すぐ書ける確定申告 須田邦裕

ひとりのできる個人事業者の確定申告 平野敦士

わたしをつくるまちづくり 尾野寛明

いま知らないと後悔する

2024年の大学入試改革 石川一郎

公民館図書新着本

一般図書

残照の頂き 湊かなえ

監禁 秋吉理香子

山亨ミアキス 古内一絵

月夜の森の梟 小池真理子

7・5グラムの軌跡 砥上裕将

中野のお父さんの快刀乱麻 北村 薫

ミトンとふびん 吉本ばなな

きりぎり舞いのさようなら 諸田玲子

死ぬまで働く 池田きぬ

今を生きるあなたへ 瀬戸内寂聴

世界一楽しい子育てアイディア大全 木下ゆーき

自治体の財政診断入門 鈴木文彦

子供の詩の庭 R・L・ステューヴンソン

児童図書・絵本

ちいさなおじさんと おおきな犬

こいぬをつれたかりゅうど

さわやか（晴れてれば）マレットゴルフ大会



10月20日（水）さわやかマレットゴルフ大会が飯綱町ふれあいパークマレットゴルフ場において開催されました。

晴れていれば大会名のとおり紅葉がきれいで見晴らしもよく「さわやか」であったはずなのでしょうが当日はあいにくの曇り

空、いざ大会をスタートし2コース程回ったころには雨が降り出してしまいました。当初の予定では全36ホールでの成績で勝敗を決める予定でありましたが、だんだん雨がひどくなってきたため急遽18ホール回り終ったところで終了とし、コースごとの偏りはあるものの成績を決めさせていただきました。

いざ大会を終了し表彰式も終わらせてみんなで記念撮影。なんとそのころには雨もやみ辺りは明るくなる始末。「秋の空」は移ろいやすいといいますがそんな言葉通りの1日でしたが、楽しく終了することができました。



フレンドリーマッチを行いました

10月23日（土）ふれあいパーク運動場において第3回飯綱町フレンドリーマッチジュニアサッカー大会が開催されました。

U-12・U-9の2つのクラスに分かれ総勢200名・20チームでの大会となりました。あいにくの天気で、小雨が降ったりやんだりとすっきりせず、エキシビジョンとして計画していた大人VS子ども選抜などは省略となりましたが、無事に試合を消化することができ良かったです。

時雨虹の出る中、表彰式は整列せず、呼び出し式で各クラスの1位から3位に賞状が渡されました。そのほか各チーム1名MVPが選ばれ賞品が渡されました。参加していただいた皆さんには楽しい1日を過ごしていただけたようです。

スポーツ協会 試合結果

■子どもの部

第24回長野県ジュニア選手権
大会兼第28回長野県小学生バ
ドミントン選手権大会

期日 9月19日（日）
9月20日（月）

場所 塩尻市総合体育館

○5年生以下男子シングルス
北村悠斗 ベスト8

○6年生以下女子シングルス
西澤なつ美 ベスト8

2021年度マルニシカップ
第39回長野県小学生バレーボ
ール北信西ブロック大会

期日 10月17日（日）

会場 綿内小学校体育館

第3位 三水ジュニア

長野SOBCジュニアバドミ
ントン大会

期日 10月24日（日）

会場 ホワイトリング
（町内関係者のみ）

○小学生以下女子ダブルス
優勝 西澤なつ美

○小学生以下男子ダブルス
3位 北村悠斗

長野県スポーツ少年団競技別
交流大会 剣道・なぎなた競
技

期日 11月7日（日）
場所 安曇野市穂高西中学
校体育館

○団体戦 小学生の部 優勝…
飯綱剣道教室

■大人の部

第15回さわやかマレットゴル
フ大会

期日 10月20日（水）

会場 ふれあいパークマレ
ットゴルフ場

○男子
優勝 黒沢正幸
準優勝 荻原定雄

3位 彦坂宗男

○女子
優勝 塚本真喜子
準優勝 荻原峯子

3位 小林節子

飯綱町秋季ゲートボール大会

期日 10月24日（日）
会場 飯綱町屋内ゲートボ
ール場

優勝 南部（畠岡・小林美・
渡辺・田中博・彦坂・原田）
準優勝 黒川（矢野征・飯島
善・飯島香・片山・矢野貞・
大川憲）

3位 栄町（松田・村上・伊
藤仁・吉沢・塚本亮・渋沢

坂上分館準優勝！



分館親善卓球大会準優勝の坂上分館

今からおよそ30年前、平成3年3月に行われた第20回分館親善卓球大会において、準優勝という成績を残した坂上分館の皆さんです。

この写真は、先日の公民館掃除の際に賞状の収納箱で見つけました。その箱には、多くの賞状が収納されていますが、写真と共に額縁に入っていたのは唯一これのみでした。

記念すべき20回目の大会で準優勝という好成绩を残せたことへの喜びが伝わってきますね。

坂上分館というと「ゲートボールの強豪」というイメージでしたが、この写真をきっかけに、当時の参加者にお話を聞いたところ、卓球経験者も多くいる地区であることが知ることができました。たまたまですが、私も中学時代は卓球部に所属していました。コロナ感染症が収まった際には、卓球活動を再開してみようかなあ、と思います（木賀田）

「俳句」

（飯綱俳友会）

一茶句碑木の実落ちくる野辺にあり

東 奈々子

木の実降るタイヤの餌食鳥漁る

清澤今朝勝

野兎の薄れる茶毛や冬初め

高野 修

紅色を散らし季仕舞うやまぼうし

龍野 由子

手を合わす術後五年目冬初め

寺島美恵子

鉢巻で獅子舞う吾子の晴れすがた

中嶋 良秋

自給農仕舞を惜しむ小六月

仲俣 一重

押し迫る丑より寅へ除夜の鐘

泉井 清泉

木の实降る風抜け透るけもの径

前野 泉

老猫の日溜まりさがす小六月

田宮 秀英

「短歌」

「づく」といわれらが信濃のお国言葉

金田一先生なんどご存知

外山 吉恵

うす暗き森には赤きまむし草

不気味に光り近寄りがたき

武田タヅ子

飯山へ向かう車中に虹かかる

虹わく根元次々に移りて

町田智頭子

冬眠の準備始めし「カエルさん」

耕しの音に穴よりいづぬ

金井 幸江

道 ぼ ん た

先日、小学校に通う娘が『お弁当の目』、お弁当を作ることになりました。前日の日曜日のお昼頃から仕込みを始めました。メニューはおにぎり2つ、だし巻き卵、たこさんウインナー、ポテトサラダ、コロコロサラダ（枝豆、コーン、人参をドレッシングであえる）、サツマイモ煮、シコンのきんぴら、ミニトマト、唐揚げ、デザートのリンドケーキ、柿。当日の朝はいつもより1時間早起きして作っていました。私の分まで用

（Y・H）

～牟礼小学校作品紹介～



「秋のお面」 黒岩 璃玖さん(1年1組)



「きれいな花火
(「こよきこよきとびだせ」)
大塚 希ノ香さん(1年2組)



「カラーフルーツ」
中村 春和さん(2年1組)



「火山からふん火したマグマ
の海」 中嶋 奏夢さん(2年2組)



「1まいずつ花びらの色
うね」 岩村 瑠衣さん(3年1組)



「パンダちゃんのおさんぽ
(「プリントゲーム」)
高野 有紗さん(3年2組)



習字「左右」
伊藤 琉稀さん(4年1組)



習字「雲」
西沢 晴さん(4年2組)



「オーロラと犬」
中村 歓和さん(5年1組)



「海とつり小屋」
花岡 蒼介さん(5年2組)



「ぼうしと6年間のランドセル」
高橋 結菜さん(6年1組)



「赤いランドセル」
本山 奈緒さん(6年2組)